

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
1	(国)142号 さくみんみかほく 佐久南拡幅 (佐久市)	道路拡幅工 L=3,650m W=14.0(28.0)m (うち橋梁3橋 L=106m) 〔工期:H11~H25〕	道路拡幅工 L=200m	用地補償 1式	道路拡幅工 L=700m	評価時 (変更) H24	80%	起点~佐久南ICランプ部まで供用。残区間の用地補償を実施。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。中部横断自動車道佐久南IC供用による交通量の増加に対応するため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H20再評価「継続」 中部横断自動車道佐久南ICと接続 H24変更:盛土材に発生土が利用できず、購入土へ変更したこと等により、工期1年延長及び事業費7億円増					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.5					
						効率性 A	住民参加状況等 供用済区間において植樹帯の維持管理を地元で実施					
		63億円	1億1700万円	3億7000万円	12億3700万円	緊急性 B						
2	(国)254号 うやま 宇山バイパス (立科町)	道路築造工 L=1,670m W=6.0(6.5)m (うち橋梁 L=114m) 〔工期:H23~H30〕	橋梁予備設計1基、ボックスカルバート詳細設計2基、用地測量 L=1.67km、用地買収1式	道路築造工 L=122m	道路築造工 L=1,670m W=6.0(6.5)m (うち橋梁 L=114m)	評価時 (当初) H23	5%	H24年度は用地補償及び詳細設計を行う。	全ての項目において評価が高い。佐久地域と松本地域を結ぶ重要な道路であり、交通量の増加、地域の安全を確保することに対応するため事業を継続したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更:工期2年延長					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.1					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					
		15億円	6800万円	1億1000万円	14億3200万円	緊急性 A						
3	(国)144号 うえの 上野バイパス (上田市)	道路築造工 L=2,290m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=80m) 〔工期:H12~H28〕	詳細設計 1式 用地測量 1式 物件調査 1式	用地補償 1式 用地測量 1式	道路築造工 L=1,800m (うち橋梁1橋 L=80m)	評価時 (変更) H21	40%	計画どおり進んでいる。H21年度に第1期区間が完成、引き続き第2期区間の事業効果の早期発現を図る。	事業の重要性は高い。交通渋滞解消及び歩行者自転車交通の安全確保のため、事業を継続したい。	重要性が高い。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 H21再評価「継続」 2期区間の整備手法を再検討し、4車線整備を暫定2車線整備に見直し。					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.6					
						効率性 B	住民参加状況等 第1期区間について、植樹に対するアダプトシステムを地元と締結					
		93億円	1億円	2億5000万円	55億3600万円	緊急性 B						

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
4	(国)254号 ひがしうち にしうち 東内～西内 (上田市)	道路築造工 L=9,400m W=6.5(9.0～11.0)m (工期:H22～H29)	道路築造工 L=320m	用地測量 1式 物件調査 1式 道路詳細設計 1式	道路築造工 L=9,400m	評価時 (当初) H22	5%	計画どおり進んでいる。	全ての項目において評価が高い。上小佐久生活圏と松本生活圏を結ぶ非常に利用の多い路線の幅員狭小かつ線形不良区間の解消のため、事業を継続したい。	重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		29億円	5400万円	4000万円	27億5600万円	必要性 A	特記事項 特になし					
						重要性 A						
						効率性 A						
				緊急性 A	B/C(費用対効果)=2.5	住民参加状況等 特になし						
5	(国)153号 いな 伊那バイパス (伊那市～ 南箕輪村～ 箕輪町)	道路築造工 L=7,630m W=14.0(28.0)m (うち橋梁3橋 L=770m) (暫定2車線整備) (工期:H9～H33)	道路築造工 L=670m	道路築造工 L=300m	道路築造工 L=4,239m (うち橋梁2橋 L=672m) (暫定2車線整備)	評価時 (変更) H24	52%	H23年度末までに天龍橋を含むL=3.4kmを供用。	事業の重要性、緊急性は高い。伊那環状道路網の形成による事業効果発現のため、事業を継続したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」 「再評価」	
		215億円	9億6100万円	10億円	103億7400万円	必要性 B	特記事項 H23再評価「見直して継続」 今後の詳細設計において施工の確実性、効果の早期発現を目的とし大土工部の構造見直しを積極的に実施 H24変更:工期7年延長					
						重要性 A						
						効率性 B						
				緊急性 A	B/C(費用対効果)=1.8	住民参加状況等 春富バイパス期成同盟会が設立						
6	(国)152号 ことうぎ 小道木 バイパス (飯田市)	道路築造工 L=1,700m W=6.5(8.0)m (うちトンネル2箇所 L=1,292m)(うち橋梁 2橋 L=312m) (工期:H20～H27)	橋梁下部工7基 トンネル工 L=1,196m	橋梁上部工2橋 トンネル工 L=1,196m	道路築造工 L=1,700m (うちトンネル2箇所 L=1,292m) (うち橋梁2橋 L=312m)	評価時 (当初) H20	32%	計画どおり進んでいる。 橋梁工・トンネル工を推進する。	事業の重要性、効率は高い。唯一の生活道路であり緊急輸送路として、また三遠南信自動車道の現道活用区間として早期供用を図るため、事業を継続したい。	重要性が認められる。	「継続」	
		54億円	13億5500万円	12億5000万円	36億8000万円	必要性 B	特記事項 三遠南信自動車道の現道活用区間である。					
						重要性 A						
						効率性 A						
				緊急性 B	B/C(費用対効果)=1.6	住民参加状況等 特になし						

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別	補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	(国)152号 わた 和田バイパス 〔飯田市〕	道路築造工 L=4,111m W=6.5(11.0)m (うちトンネル2箇所 L=327m)(うち橋梁2 橋 L=166m) 〔工期:H10~H27〕	道路築造工 L=456m 橋梁上部工1橋	道路築造工 L=50m	道路築造工 L=1,770m (うちトンネル1箇所 L=180m) (うち橋梁1橋 L=65m)	評価時 (変更) H19	75%	計画どおり進んでいる。 L=2,080mが供用し、残L=1,970mの道路築造 工を実施する。	事業の必要性、重要 性及び効率性は高 い。唯一の生活道路 であり緊急輸送路と して、また三遠南信自動 車道の現道活用区間 として早期供用を図 るため、事業を継続とし たい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
		60億9700万円	4億6200万円	1億円	15億1400万円	必要性 A	特記事項 H19再評価「継続」 三遠南信自動車道の現道活用区間である。				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.4			
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし					
8	(国)152号 こおろし 小嵐バイパス 〔飯田市〕	道路築造工 L=2,425m W=6.5(8.0)m (うち橋梁2橋 L=210 m) 〔工期:H19~H26〕	詳細設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	橋梁下部工 1基	道路築造工 L=2,425m (うち橋梁2橋 L=210m)	評価時 (当初) H19	4%	計画どおり進んでいる。 調査設計が完了し、用地買収を実施する。	事業の必要性、重要 性及び効率性は高 い。三遠南信自動 車道の現道活用区間 として早期供用を図 るため、事業を継続とし たい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
		49億円	6000万円	1億8000万円	46億8500万円	必要性 A	特記事項 三遠南信自動車道の現道活用区間である。				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.7			
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし					
9	(国)418号 じっぽうきょう 十方峽 バイパス 〔天龍村~ 飯田市〕	道路築造工 L=1,810m W=6.5(11.0)m (うちトンネル L=836m)(うち橋梁3 橋 L=343m) 〔工期:H9~H25〕	トンネル工 L=108m 橋梁上部工 L=118m	道路築造工 L=500m トンネル工 L=108m 橋梁上部工 L=118m	道路築造工L=500 m (うちトンネル L=108m) (うち橋梁1橋 L=118m)	評価時 (変更) H24	86%	計画どおり進んでいる。 残る新清水橋及び藁野トンネル工を実施す る。	全ての項目において 評価が高い。唯一の 生活道路であり、冠水 危険箇所解消のため、 事業を継続した い。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」 「再評価」
		61億7000万円	5億5000万円	3億円	8億3500万円	必要性 A	特記事項 H23再評価「継続」				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=0.6			
					緊急性 A	住民参加状況等 本地域は、天龍ピカピカ大作戦という道路沿道美化が春と秋2回 開催され、地域住民(小中学生を含む)の環境形成活動が盛ん である。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
10	(国)361号 うばがみとうげどうろ 姥神峠道路 〔木曾町～ 塩尻市〕	道路築造工 L=8.145m W=7.0(10.5)m 〔工期:H8～H33〕	詳細設計 1式	一時休止	一時休止	評価時 (変更) H24	65%	現道が一定レベルの機能を有しているため、 一時休止。	事業の必要性、重要性、及び緊急性は高い。地域高規格道路として整備する必要性はあるが、現道は交通機能の面や安全性等が一定レベルの機能を有しているため、一時休止としたい。	整備する必要性は、認められる。	「一時休止」 「再評価」	
		348億5200万円	100万円	0円	123億1000万円	必要性 A	特記事項 H23再評価「一時休止」 地域高規格道路として整備する必要性はあるが、現道は交通機能の面や安全性等が一定レベルの機能を有しているため、一時休止としたい。					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.4					
						効率性 B	住民参加状況等 特になし					
11	(国)403号 やこせぼうさい 矢越防災 〔筑北村～ 安曇野市〕	道路築造工 L=1,800m W=6.0(7.5)m (うちトンネル L=1,033m) (うち橋梁1橋 L=137m) 〔工期:H21～H28〕	道路築造工 L=180m 橋梁下部工1基	道路築造工 L=250m 橋梁下部工1基	道路築造工 L=1,800m (うちトンネル L=1,033m) (うち橋梁1橋 L=137m)	評価時 (当初) H21	6%	計画どおり進んでいる。	事業の重要性及び効率性が高い。落石危険箇所の解消や冬期交通の円滑な確保のため、事業を継続したい。	重要性が高い。	「継続」	
		60億円	1億7200万円	1億5000万円	56億6700万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.8					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					
12	(国)148号 うさぎょう 雨中 〔小谷村〕	道路築造工 L=1,850m W=6.5(8.0)m (うちトンネル L=1,027m) (うち橋梁1橋 L=80m) 〔工期:H23～H30〕	地形測量 1式 道路詳細設計 1式 地質調査 1式	橋梁詳細設計 1式 トンネル詳細設計 1式 用地測量 1式 用地買収 1式	道路築造工 L=1,850m (うちトンネル L=1,027m) (うち橋梁1橋 L=80m)	評価時 (当初) H23	1%	計画どおり進んでいる。	事業の重要性、効率性及び緊急性が高い。騒音・振動や事故の危険性からの住民生活の安定確保のため、事業を継続したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		68億円	8000万円	1億円	67億2000万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=0.7					
						効率性 A	住民参加状況等 「国道148号 雨中・月岡バイパス連絡協議会」が組織されており、計画策定に積極的に関与。					
				緊急性 A								

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別	補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
13	(国)403号 こうたか 幸高～ いのうえかみふく 井上拡幅	道路築造工 L=810m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=33.0m) 〔工期:H19～H26〕	用地補償 1式	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=810m (うち橋梁1橋 L=33.0m)	評価時 (当初) H19	51%	計画どおり進んでいる。	事業の重要性、効率性及び緊急性は高い。渋滞解消と歩行者の安全確保のため、事業を継続したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
	(須坂市)	25億円	8000万円	5700万円	12億3400万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=3.8 住民参加状況等 地元が沿道の花を整備している。今後の維持管理に対する協議を実施予定。				
14	(国)406号 むらやまばし 村山橋	道路築造工 L=2,150m W=13.0(25.0)m (うち橋梁1橋 L=837.8m) 〔工期:H2～H26〕	旧橋撤去 1式	旧橋撤去 1式	旧橋撤去 1式	評価時 (変更) H24	96%	橋梁工事は完了し供用済。旧橋撤去工を実施。	全ての項目において評価が高い。残事業は旧橋撤去による河川断面の確保のみであり、事業を継続したい。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
	(長野市～須坂市)	241億6800万円	1億8300万円	3億6500万円	8億7100万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H21再評価「継続」 H24変更:残事業費の精査と工程の見直しにより、工期2年延長及び事業費5億円増 B/C(費用対効果)=1.3 住民参加状況等 地元で花壇植栽等の活動を行っている。				
15	(国)406号 しよくみ 西組 パイパス	道路築造工 L=2,100m W=6.0(7.5～9.75)m (うちトンネル L=505m) (うち橋梁1橋 L=184m) 〔工期:H22～H29〕	測量設計 1式 地質調査 1式 用地測量 1式 物件調査 1式	道路築造工 L=77m	道路築造工 L=2,100m (うちトンネル L=505m) (うち橋梁1橋 L=184m)	評価時 (当初) H22	4%	計画どおり進んでいる。設計をすすめており、今後用地買収を実施する。	事業の必要性、効率性及び緊急性は高い。北信地域の生活路線の幅員狭小かつ線形不良区間の解消のため、事業を継続したい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
	(長野市)	41億円	1億1900万円	1億5000万円	39億3200万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.3 住民参加状況等 特になし				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道一般改築)				補助・単独別	補助	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
16	(国)117号 かえさしずま 替佐～静岡 バイパス 〔中野市～ 飯山市〕	道路築造工 L=7,670m W=6.5(12.75)m (うち橋梁7橋 L=588.5m) 〔工期:H元～H25〕	道路築造工L=50 m	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=3,300m	評価時 (変更) H20	95%	豊田飯山ICから飯山市側が供用済であり、 中野市側の道路築造工を実施。	事業の重要性、効率 性及び緊急性は高 い。線形不良、幅員狭 小区間解消のため、 事業を継続したい。	予定工期内の完 了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H20再評価「継続」 H24変更:工期1年延長				
						重要性 A		B/C(費用対効果)=2.2			
						効率性 A					
	91億3900万円	1200万円	2000万円	5億円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
17	(国)403号 ちゅうおうばし 中央橋 かけかえ 架替 〔飯山市〕	道路築造工 L=815m W=6.5(15.0)m (うち橋梁1橋 L=365m) 〔工期:H21～H28〕	橋梁下部工5基 橋梁上部工1式	橋梁下部工5基 橋梁上部工1式	道路築造工 L=815m (うち橋梁1橋 L=365m)	評価時 (当初) H21	40%	計画どおり進んでいる。 平成26年の北陸新幹線飯山駅開業(予定) に供用をあわせるため橋梁工を実施する。	事業の必要性、重要 性が高い。平成26年 度開業(予定)の北陸 新幹線飯山駅アクセ ス道路の老朽橋架替 のため、事業を継続し たい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 北陸新幹線関連事業(H26開業予定)				
						重要性 A		B/C(費用対効果)=3.9			
						効率性 B					
	60億円	15億8900万円	12億6700万円	35億9600万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし					
合計	17箇所	1576億2600万円	59億6300万円	57億900万円	668億7900万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
1	(国)152号 つえつきとうげ 杖突峠 [茅野市～伊那市]	道路築造工 L=670m W=6.0(7.5)m 〔工期:H23～H26〕	道路築造工 L=190m	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=380m	評価時 (当初) H23	32%	計画どおり進んでいる。	事業の効率性は高い。地元の要望も高く、線形不良箇所の解消を行うため、事業を継続したい。	線形改良を行う必要性が認められる。	「継続」	
		1億7000万円	5500万円	4000万円	1億1500万円	必要性 B						特記事項 H24変更: 県単事業(継続)から交付金事業に移行した。
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし											
2	(国)299号 いとがやかくふく 糸萱拡幅 [茅野市]	道路築造工 L=330m W=6.5(11.0)m (うち橋梁1橋 L=24m) 〔工期:H20～H24〕	補強土壁工 L=122m	道路築造工 L=330m 旧道撤去工 1式 河川付替 1式	道路築造工 L=330m 旧道撤去工 1式 河川付替 1式	評価時 (当初) H20	76%	計画どおり進んでいる。 H24は旧道撤去・河川付替等実施し事業を完了する予定。	事業の必要性、重要性及び効率性は高い。地元の要望も高く、線形不良箇所の解消を行うため、事業を継続し、平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		6億3600万円	1億4000万円	1億5000万円	1億5000万円	必要性 A						特記事項 特になし
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 道路及び道路周辺の草刈りや側溝清掃を地元自治会により定期的に実施しており、今後も実施予定。											
3	(国)152号 (ひた)栗田～ よっかいちば 四日市場 [伊那市]	道路築造工 L=1,500m W=6.5(10.25)m (うち橋梁3橋 L=70m) 〔工期:H23～H26〕	詳細設計 1式 用地測量 1式	橋梁詳細設計 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=1,220m 橋梁3橋	評価時 (当初) H23	4%	計画どおり進んでいる。 H23に用地測量を実施し、H24では用地買収、本工事に着手する。	全ての項目において評価が高い。諏訪地域と伊那地域を結ぶ重要な道路であり、幅員狭小箇所の解消を行うため、事業を継続したい。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
		10億円	4100万円	1億1400万円	9億5900万円	必要性 A						特記事項 特になし
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 地元対策委員会が組織され、設計協議に参画している。											

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)			補助・単独別	補助	建設部 道路建設課			
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	(国)151号 いいのつげ 新野峠 バイパス (阿南町～ 売木村)	道路築造工 L=1,600m W=6.5(9.0)m [工期:H19～H26]	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=70m	道路築造工 L=900m	評価時 (変更) H24	64%	0.6kmを部分供用済。	事業の重要性及び効率性は高い。路線中唯一の未改良区間であり、大規模地震発生時などの輸送路を始め観光振興等、整備に対する期待は大きいため、事業を継続したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		10億円	1億8000万円	5000万円	3億6300万円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期2年延長				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし					
5	(国)256号 かみひさかたがくろく 上久堅拡幅 (飯田市)	道路築造工 L=1,800m W=6.0(9.75)m [工期:H21～H28]	道路築造工 L=120m	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=1,480m	評価時 (変更) H24	34%	用地買収及び、道路築造工を実施。	事業の必要性、重要性及び効率性が高い。平成20年代後半に予定されている三遠南信自動車道飯田東IC(仮称)開通に合わせるため、事業を継続したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		14億7000万円	2億8400万円	1億5000万円	9億7600万円	必要性 A	特記事項 三遠南信自動車道飯田東インターチェンジ(仮称)への直結道路。 H24変更:工期4年延長				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 B	住民参加状況等 長野県指定の貴重指定植物を計画地から移植し、地元による管理を行う。					
6	(国)418号 のまげ 野竹 とこうかりふく ～戸口拡幅 (天龍村)	道路築造工 21箇所 L=1,640m W=5.5(7.0)m [工期:H18～H24]	道路築造工 L=239m	道路築造工 1箇所 L=85m	道路築造工 1箇所 L=85m	評価時 (当初) H18	94%	計画どおり進んでいる。 20箇所が完了、残1箇所について実施。	事業の重要性及び効率性は高い。地元からの要望も高く、幅員狭小区間を部分的に解消することにより、通行車両の安全性を図るために事業を継続し、平成24年度完了を目指す。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		14億5000万円	1億5100万円	8500万円	8500万円	必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 B	住民参加状況等 中組地区はアダプトシステムにより地元が維持管理に参加している。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	3.8 道路改築(国道小規模改築)			補助・単独別	補助	建設部 道路建設課			
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	(国)418号 はつでんしよ 発電所～ しもいちば 下市場 (飯島)	道路築造工 L=500m W=6.5(9.0)m (うち橋梁 L=15m)	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=400m	道路築造工L=500 m 橋梁下部工2基 橋梁上部工L=15m	評価時 (当初) H23	10%	計画どおり進んでいる。	事業の重要性、効率 性及び緊急性は高 い。地元からの要望も 高く、幅員狭小区間を 解消することにより、 通行車両の安全性を 図るために事業を継 続したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
		[工期:H23～H26]				必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A					
						効率性 A					
	(飯田市)	8億円	7900万円	1億7800万円	7億2100万円	緊急性 A	住民参加状況等 国道418号整備促進期成同盟会からの要望を聞きながら、地元 飯田市と調整を図りながら工事を実施している。				
8	(国)256号 うるしほたか(ひく 漆畑拡幅	道路築造工 L=1,650m W=6.0(7.5)m (うち橋梁2橋 L=53.8m)	地質調査 1式 構造物設計 1式	法面工A=300m2	道路築造工 L=850m (うち橋梁2橋 L=53.8m)	評価時 (変更) H24	43%	2工区が完了し、引き続き1工区を実施。	事業の重要性及び効 率性は高い。木曽路・ 中山道と伊那谷を結 ぶ主要幹線であり、住 民生活や地域経済の 発展に大きく寄与す るため、事業を継続し たい。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		[工期:H20～H27]				必要性 B	特記事項 H24変更:工期3年延長				
						重要性 A					
						効率性 A					
	(南木曽町)	12億円	6700万円	7000万円	6億8000万円	緊急性 B	住民参加状況等 現在、道路及び道路周辺の清掃を地元関係者と定期的に実施し ており、今後も実施予定。				
9	(国)361号 かいた かみや 開田～神谷 かみや (神谷)	道路築造工 L=6,400m W=5.5(7.0)m	道路築造工 (舗装工)L=604 m	道路築造工 L=150m	道路築造工 L=850m 橋梁工2橋	評価時 (当初) H23	25%	反対意見等なく計画どおり進んでいる。	事業の重要性及び効 率性は高い。姥神峠 道路、権兵衛峠道路 とのアクセス道路で あり、住民生活や地域 経済の発展に大きく寄 与するため、事業継 続したい。	重要性が認められ る。	「継続」
		[工期:H23～H26]				必要性 B	特記事項 H23変更:県単事業(継続)から交付金事業に移行した。				
						重要性 A					
						効率性 A					
	(木曽町)	2億円	5000万円	5000万円	1億5000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)				補助・単独別	補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
10	(国)143号 あかだかひく 岡田拡幅 〔松本市〕	道路築造工 L=1,260m W=6.5(11.5)m 〔工期:H15~H24〕	物件調査 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=350m	道路築造工 L=350m	評価時 (当初) H15	90%	計画どおり進んでいる。 これまでに約1kmが供用し、残区間の用地 買収及び道路築造工を実施。	事業の重要性、効率 性及び緊急性は高 い。交通量が非常に 多いにも関わらず幅 員が狭く歩道がないた め、交通安全上、支障 を来している。事業に 対する地元の熱意は 強く、事業を継続し平 成24年度での完了を 図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
		15億8800万円	6600万円	1億6500万円	1億6500万円	必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 A	B/C(費用対効果)=3.5	住民参加状況等 道路及び道路周辺の草刈りや側溝清掃を地元自治会により定 期的に実施しており、今後も実施予定。				
11	(国)143号 あいはし 会吉 〔松本市〕	道路築造工 L=1,300m W=6.0(9.75)m (うち橋梁 4橋) 〔工期:H23~H26〕	調査・測量・設計 1式	橋梁詳細設計 1 式 河川付替工 L=70m	道路築造工 L=1,300m 橋梁工 4橋	評価時 (当初) H23	5%	計画どおり進んでいる。 H24は、橋梁詳細設計及び河川付替工を実 施する予定。	事業の必要性、重要 性及び効率性が高 い。会吉地区の幅員 狭小区間を解消し、住 民生活の安全確保に 大きく寄与するため、 事業を継続したい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
		10億円	5200万円	1億円	9億4800万円	必要性 A	特記事項 特になし				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 B	B/C(費用対効果)=2.7	住民参加状況等 特になし				
12	(国)403号 あまのり 落合 〔木島平村～ 山ノ内町〕	道路築造工 L=720m W6.0(7.5)m (うち橋梁1橋 L=72m) 〔工期:H22~H25〕	道路設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=80m 橋梁設計 1式	道路築造工 L=720m (うち橋梁1橋 L=72m)	評価時 (当初) H22	13%	計画どおり進んでいる。	事業の必要性及び効 率性は高い。地域か らの要望も強く、生活 路線の幅員狭小かつ 線形不良区間の解消 のため、事業を継続し たい。	必要性が認められ る。	「継続」
		7億円	2200万円	6000万円	6億1000万円	必要性 A	特記事項 北陸新幹線関連事業(H26開業予定)				
						重要性 B					
						効率性 A					
					緊急性 B	B/C(費用対効果)=2.6	住民参加状況等 特になし				

分野	主要な道路の整備		事業番号、事業名	38 道路改築(国道小規模改築)		補助・単独別	補助	建設部 道路建設課				
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
13	(国)405号 わやまこあか 和山～小赤 沢 (栄村)	道路築造工 L=3,500m W=5.5(7.0)m 〔工期：H23～H28〕	地形測量、 路線測量 設計 1式	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=3,300m	評価時 (変更) H24	1%	H24は、詳細設計、用地測量、用地買収、本 工事を実施する予定。	事業の重要性、効率 性及び緊急性は高 い。積雪期の生活道 路の安全を確保し、孤 立の不安から住民生 活を守るため、事業を 拡大し継続したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「拡大」	
		8億円		1100万円	1億円	7億8900万円	必要性 B	特記事項 平成18年の豪雪により孤立した集落あり。 H24変更：長野北部地震に伴う計画の変更及び工程の見直しに より、工期1年延長及び事業費4億円増				
							重要性 A					
							効率性 A					B/C(費用対効果)=0.1
							緊急性 A					住民参加状況等 特になし
合計	13箇所	120億1400万円	11億9800万円	13億1200万円	67億1100万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (当初) H17	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
1	かわかみさく せん (主)川上佐久線 いりさわ みぶん 入沢～三分 (佐久市)	道路築造工 L=1,965m W=6.0 (10.0)m (工期:H17～H24)	道路築造工 L=235m 旧道処理工 L=4300m	旧道処理工 L=200m	旧道処理工 L=200m	評価時 (当初) H17	99%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は旧道処理工を実施し完了予定。	平成20年度に供用開始した羽黒山バイパスと併せて効果が早期発現できるよう継続して事業を実施し、H24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		9億2200万円	1億4449万円	1000万円	1000万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H20年度に供用開始した羽黒山バイパスに接続する道路である。 B/C(費用対効果)=1.5 住民参加状況等 特になし。				
2	さくこもろせん (主)佐久小諸線 きしの たかせ 岸野～高瀬 (佐久市)	道路築造工 L=1480m W=6.0(9.75)m (うち橋梁 L=259m) (工期:H23～H31)	地形測量・路線測量 1式 道路修正・詳細設計 1式 地質調査 1式	橋梁詳細設計 用地測量 1式 用地買収 1式	道路築造工 L=1221m 橋梁上部工 L=259m 橋梁下部工 1式	評価時 (当初) H23	1%	H23新規着手。橋梁予備設計。 平成24年度は、用地買収を進めるとともに、橋梁詳細設計を進める。	佐久地域と小諸地域を結ぶ幹線道路であるが、千曲川を渡河する佐久橋が老朽化し、現在重量規制中(8t車)であることから、緊急に橋の架け替えが必要なことから、継続して事業を進めたい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
		22億8000万円	2184万円	1億3000万円	22億5816万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.6 住民参加状況等 特になし。				
3	うえのこうみせん (一)上野小海線 やまぐち 山口 (北相木村)	道路拡幅工 L=285m W=5.5(8.25)m (工期:H22～H26)	測量設計 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=285m	評価時 (変更) H24	15%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は測量設計を完了し、用地補償を実施する。	中山間地域の生活を支える道路として整備の必要性も高いことから、継続して事業を実施したい。	拡幅改良の必要性が認められる。	「継続」
		2億6000万円	7491万3千円	2000万円	2億2570万円	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更:取付道路の修正により事業費見直し(1,500万円増)。 B/C(費用対効果)=1.1 住民参加状況等 特になし。				
4	かわかみ さくせん (主)川上佐久線 ひがしあながし 東馬流 (小海町)	道路拡幅工 L=240m W=5.5(6.5)m (工期:H22～H24)	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=140m	道路築造工 L=140m	評価時 (当初) H22	45%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は、道路築造工を実施する。	国道141号を補完する唯一の道路であり、災害時の幹線道路としての機能の確保と生活道路としての安全確保を行う必要があるため、継続して事業を実施し、H24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		1億5000万円	2399万3千円	4500万円	1億1360万円	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=1.8 住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
5	(主)川上佐久線 高岩 (佐久穂町)	道路拡幅工 L=200m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H24)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式 道路築造工 L=282m	用地補償 1式 道路築造工 L=282m	評価時 (変更) H24	30%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は用地補償をし工事に着手する。	生活道路または国道 141号を緊急時に補完 する道路として緊急に 整備を進める必要が あるため、継続して事 業を実施し、H24年度 での完了を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H24変更:付替水路の修正により事業費3千万円増。
						重要性 C						B/C(費用対効果)=1.3
						効率性 A						住民参加状況等 特になし。
6	(主)下仁田浅科 線 志賀 (佐久市)	道路拡幅工 L=370m W=5.5(9.25)m (工期:H22~H26)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=370m	評価時 (変更) H24	8%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は用地補償を進める。	大型車交通の著しい 幅員狭隘道路の整備 により、通過交通の円 滑化と通学児童の安全 確保を図る必要が あるため、継続して事 業を実施したい。	必要性は認められ る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H22変更:県単事業から交付金事業に移行した。 H24変更:事業精査により事業費1億円増額。
						重要性 C						B/C(費用対効果)=2.7
						効率性 A						住民参加状況等 特になし。
7	(一)塩名田 佐久線 中佐都 (佐久市)	道路拡幅工 L=980m W=6.0(9.75)m (工期:H22~H29)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=980m	評価時 (当初) H22	36%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は用地補償を完了させる。	中部横断自動車道の 開通に伴う通過交通 の円滑化と歩行者の 安全確保が必要であ るため、継続して事業 を実施したい。	必要性は認められ る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 C						B/C(費用対効果)=1.5
						効率性 A						住民参加状況等 特になし。
8	(一)小諸中込線 塚原 (佐久市)	道路拡幅工 L=550m W=6.0(8.75)m (工期:H22~H26)	測量設計 1式 用地測量 1式	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L=550m	評価時 (当初) H22	72%	計画どおり進んでいる。 平成24は道路拡幅工を推進する。	通過交通の円滑化と 通学児童の安全確保 が必要であるため、継 続して事業を実施した い。	必要性は認められ る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 C						B/C(費用対効果)=3.2
						効率性 A						住民参加状況等 特になし。
						緊急性 B						

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
9	(一)立科小諸線 おおくぼ 大久保 (小諸市)	道路拡幅工 L=210m W=6.0(8.0)m (工期:H22~H24)	道路拡幅工 L=80m	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=100m	評価時 (当初) H22	79%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は引き続き道路拡幅工を実施し 事業完了予定。	地域住民の生活道路 であるとともに、県外 者の観光地へのアク セス道路として利用さ れており、早期の整備 が必要であるため、平 成24年度での完成を 図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」
		2億3700万円	7499万1千円	5000万円	5000万円	必要性 B 重要性 C 効率性 B 緊急性 B	特記事項 特になし。 完成年度の前倒し(H26 H24) B/C(費用対効果)=1.2 住民参加状況等 特になし。				
10	(一)東部望月線 たのしり あげだ 田之尻~畔田 (東御市)	道路築造工 L=1,600m W=6.0 (10.0)m (工期:H19~H24)	道路築造工 L=310m	道路築造工 L=540m 舗装工 L=1,400m	道路築造工 L=540m 舗装工 L=1,400m	評価時 (当初) H19	89%	計画どおり進んでいる。 H23までに用地買収完了。 平成24年度は本工事を進め、完了予定。	PI手法による計画策定 により地域の合意形 成が良好である。第2 次緊急輸送路であるこ とから緊急度も高いた め、平成24年度での 完成を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」
		6億4300万円	1億8160万円	7000万円	7000万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果) = 2.8 住民参加状況等 PI(住民参加)によりルート検討を実施				
11	(一)東部望月線 たなかみなみ 田中南 (東御市)	道路築造工 L=300m W=6.5(14.0)m (工期:H21~H25)	用地補償 1式 道路築造工 L=70m	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=300m	評価時 (当初) H21	82%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は用地補償を完了し、道路築造 工を進める。	地元合意形成も良好 であり、緊急性が高い ことから、継続して事 業を実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」
		4億5000万円	9216万円	5000万円	8000万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H24より事業箇所名「東御市常田から田中南」に変更。 B/C(費用対効果) = 3.0 住民参加状況等 事業により整備された隣接区間は、地域の方々が主体となった沿 道美化活動が行われおり、本区間についても活動意識が高い。				
12	(主)別所丸子線 べつしよまるこせせん やなぎさわ 柳沢 (上田市)	道路築造工 L=1,500m W=6.0(7.5)m (工期:H22~H26)	用地測量 1式 物件調査 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=1,500m	評価時 (当初) H22	7%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は、用地買収を進める。	生活道路としての安全 確保を図るとともに、 観光地へのアクセス 機能の向上による地 域産業の活性化に寄 与する事業であるた め、継続して事業を 実施したい。	バイパス整備の必要 性は認められる。	「継続」
		4億5000万円	2199万8千円	3800万円	4億2000万円	必要性 B 重要性 C 効率性 B 緊急性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果) = 3.2 住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
13	(主)別所丸子線 甲丸子 (上田市)	道路築造工 L=320m W=6.0(12.0)m (工期:H22~H24)	用地補償 1式	道路築造工 L=320m	道路築造工 L=320m	評価時 (当初) H22	52%	計画どおり進んでいる。 平成24年度 供用開始予定(完了)	車両及び歩行者の事故防止のため、緊急な整備が必要であり、上田市事業と併せて効果を発現できるよう継続して事業を実施し平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 完了年度の前倒し(H25 H24)					
						重要性 C	B/C(費用対効果) = 3.6					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
緊急性 C												
2億5000万円	6835万7千円	1億2000万円	1億2000万円									
14	(主)丸子東部 インター線 下丸子～長瀬 (上田市)	道路築造工 L=640m W=6.0(9.5)m (工期:H22~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=640m	評価時 (変更) H24	11%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は、用地補償を進める。	生活道路としての安全確保を図るとともに、東部湯の丸ICのアクセス機能の向上による観光産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	必要性は認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更:土留構造の変更により全体事業費見直し6千万円増。					
						重要性 C	B/C(費用対効果) = 4.5					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
緊急性 C												
3億4000万円	2610万円	2000万円	3億350万円									
15	(主)東御 嬢恋線 54番観音～ 56番観音 (東御市)	道路築造工 L=294m W=6.0(7.5)m (工期:H22~H24)	道路築造工 L129m	道路築造工 L294m	道路築造工 L=294m	評価時 (当初) H22	92%	計画どおり進んでいる。 国有林野の保安林解除が進み、平成24年度は本工事を進め完了。	東御市中心部から湯ノ丸高原に至るまでの間の路線最後の未改良区間であり、早急な整備が望まれることから、継続して事業を実施し、平成24年度での完成を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 特になし。					
						重要性 C	B/C(費用対効果) = 1.4					
						効率性 B	住民参加状況等 特になし。					
緊急性 C												
1億2000万円	8531万5千円	1000万円	1000万円									
16	(主)岡谷茅野線 大熊 (諏訪市)	道路築造工 L=1,100m W=6.5(11.0)m (工期:H23~H30)	詳細設計、物件 調査、用地補償1 式	用地補償1式	道路築造工 L=1,100m	評価時 (当初) H23	12%	計画通り進んでいる。 平成24年度は用地補償を進める。	全体的に評価レベルが高く、関連する一級河川 新川の河川改修事業も事業となり、計画熟度も高いことから、継続して事業を実施したい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 社会資本整備総合交付金(河川)事業 新川を実施。河川事業と併行し整備を図る。					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.8					
						効率性 A	住民参加状況等 道路及び道路周辺の草刈りを地元自治会により定期的実施している。					
緊急性 A												
11億円	1億2777万6千円	1億3078万5千円	9億7222万4千円									

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
17	(一) 弘沢 の 茅野線 みやがわの 宮川茅野 (茅野市)	道路築造工 L=210m W=6.0(12.0)m (工期:H22~H26)	物件調査、用地 補償1式	公管金1式	道路築造工 L=210m 公管金(負担金)	評価時 (当初) H22	13%	平成24年度は土地区画整理事業地内の物件移転補償(公管金)を進める。	国道20号坂室バイパスと関連した事業であり、県道事業に合わせて土地区画整理事業も実施されていることから、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		11億円	4222万6千円	1億5000万円	9億5160万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 宮川茅野土地区画整備事業の進捗に合わせた事業執行を図る。 B/C(費用対効果) = 1.6 住民参加状況等 特になし。					
18	(主) 伊那生田飯 の 田線 たがりの 田切 (飯島町)	道路築造工 L=1000m W=6.0(10.0)m (工期:H22~H25)	道路築造工 L=200m W=6.0(10.0)m (うちトンネル L=130m)	道路築造工 L=800m W=6.0(10.0)m (うちトンネル L=130m)	道路築造工 L=800m W=6.0(10.0)m (うちトンネル L=130m)	評価時 (当初) H22	43%	計画どおり進んでいる。 平成24年度はトンネル工事を進める。	国道153号伊南バイパスと関連した事業であり、現道交通ネック区間の回避を図ることから、継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」	
		10億円	4億5445万9千円	2億2228万9千円	5億7480万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 国道153号伊南バイパスの進捗に合わせた事業執行を図る。 H22長野県環境配慮制度対象箇所 B/C(費用対効果) = 2.2 住民参加状況等 特になし。					
19	(主) 飯田富山佐 の 久間線 よなみね 米峰 (飯田市)	道路築造工 L = 320m W=6.0(8.0)m (うち橋梁 L=150m) (工期:H19~H24)	橋梁上部工 L=150m	橋梁上部工 L=150m 道路築造工 L=170m	橋梁上部工 L=150m 道路築造工 L=170m	評価時 (変更) H24	91%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は、橋梁工及び道路築造工を進め、事業の完了を図る。	当ネック区間を解消することにより、前後に隣接する整備済み区間との一体的な整備効果が発現されることから、継続して事業を実施し平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		8億7480万円	1億9970万5千円	8000万円	8000万円	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更: 全体事業費の見直し(2,520万円減)。 B/C(費用対効果) = 1.5 住民参加状況等 特になし。					
20	(主) 天竜公園阿 の 智線 こか 伍和 (阿智村)	道路築造工 L=1,040m W=6.0 (8.0)m (うちトンネル工 L=318m、橋梁工 L=109m) (工期:H18~H27)	橋梁上部工 L=109m 橋梁下部工 1基	トンネル工 L=318m 橋梁工109m	道路築造工 L=670m	評価時 (当初) H18	46%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は上部工を実施、トンネル工に着手する。	当工区は中抜け区間であり、狭隘で線形が悪く交通のネックとなっており地元要望も強い。ため、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」	
		23億円	3億5301万円	4億円	12億4232万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果) = 2.0 住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
21	(主) 飯田富山佐久間線 (中尾～南宮) (泰阜村～阿南町)	道路築造工 L=1,251m W=6.0(8.0～11.0)m (うちトンネルL=381m、JRボックスL=55m) (工期:H14～H26)	道路設計 1式	道路設計 1式 用地測量 1式 物件調査 1式 用地補償 1式	道路築造工(JRボックス) L=55m	評価時(変更) H24	72%	JRボックス施工に係るJRとの調整に時間を要している。平成24年度は用地補償を進め、JR東海との工事協定を進める。	阿南病院など医療施設も近接し、民生の安定という観点では非常に重要であり、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」「再評価」	
		47億7000万円	2750万7千円	1億5000万円	13億5170万円	必要性 A 重要性 A 効率性 B 緊急性 B 特記事項 H24変更:設計変更等による事業期間見直し(H24 H26) 構造物修正による全体事業費見直し(1億7千万円増) H23公共事業再評価(継続) B/C(費用対効果) = 0.6 住民参加状況等 特になし。						
22	(一) 青木東線 (飯田市)	道路築造工 L=400m W=6.0(16.0)m (工期:H21～H26)	物件調査、用地補償1式	道路築造工 L=70m 用地補償1式	道路築造工 L=400m	評価時(当初) H18	28%	計画どおり進んでいる。平成24年度は引き続き用地補償を進め、一部本工事に着手する。	隣接する街路事業実施に伴って地元の受け入れ態勢も整っていることから、継続して事業を実施したい。	緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
		10億円	3億3385万4千円	1億5000万円	7億2140万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A 特記事項 H24より事業箇所名「飯田市上山から県」に変更。 B/C(費用対効果) = 1.7 住民参加状況等 自治会が独自に事業パンフレットを作成し地域合意醸成を進めている。						
23	(主) 飯島飯田線 (切石～北方) (飯田市)	道路築造工 L=660m W=13.0(22.0)m (うちトンネルL=80m) (工期:H17～H27)	物件調査、用地補償1式	物件調査、用地補償1式	道路築造工 L=660m	評価時(当初) H17	57%	平成24年度は引き続き用地補償を進め、一部本工事に着手する。	街路事業で実施中である隣接区と進捗を合わせるため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		50億円	3億1780万円	1億6000万円	21億6720万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A 特記事項 H24変更:設計変更等による事業期間の変更(H24 H27) B/C(費用対効果) = 3.3 住民参加状況等 特になし。						
24	(主) 開田三岳福島線 (川合) (木曾町)	道路築造工 L=528m W=6.0(8.0)m (うちトンネルL=218m 橋梁L=80m) (工期:H19～H25)	トンネル工 L=218m 橋梁上部工 L=80m	道路築造工 L=140m トンネル工 L=218m	道路築造工 L=140m トンネル工 L=218m	評価時(当初) H19	56%	平成24年度は、トンネル工事を完了させる。	当該地域唯一の路線であり、交通ネック箇所の早期解消が望まれているため、継続して事業を実施する。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		14億1800万円	4億5820万円	3億5000万円	6億2610万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A 特記事項 H24変更:工期1年延長 B/C(費用対効果) = 2.1 住民参加状況等 特になし。						

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
25	(主) ながわき 森せん 奈川木祖線 さかいとろけ 境峠 (木祖村)	道路築造工 L=2,590m W=6.0(8.0)m (工期:H20~H27)	道路築造工 L=40m	道路築造工 L=320m	道路築造工 L=1,350m	評価時 (変更) H24 必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	35%	平成24年度は引き続き、白樺平工区の道路築造工を実施する。	伊那、木曾方面から上高地方面への最短経路として重要性が増しており、峠付近の要対策箇所も一体的に整備する必要があるため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		8億7000万円	2億8408万円	6000万円	5億6300万円	特記事項 H24変更: 変更設計による事業期間見直し(H24 H27) L=440m増 H23変更: 平成23年から白樺平下工区を優先的に整備 L=590m増 住民参加状況等 特になし。					
26	(一) あげまつ なぎぞ 上松南木曾 せん 線 のぼりたまわむら 登玉~和村 (上松町~大桑村)	道路築造工 L=3,210m W=5.5 (8.0)m (うち橋梁工L=94m トンネル工L=697m) (工期:H22~H28)	橋梁下部工1基 測量設計1式 用地補償1式	橋梁上部工1橋 トンネル設計1式 用地補償1式	道路築造工 L=3210m W=6.0(8.0)m	評価時 (当初) H22 必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	3%	計画どおり進んでいる。平成24年度は用地補償・道路築造工を実施する。	国道19号の代替路線として重要性が高く、地元の受入態勢も整っているため、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」
		43億円	1億999万円	2億円	41億9001万円	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果) = 2.0 住民参加状況等 特になし。					
27	(主) かみこうちこうえん 上高地公園 せん 線 かみこうち 上高地 (松本市)	道路築造工 L=800mW=6.0(7.0)m (うちトンネル L=588m) (工期:H21~H26)	仮橋工L=61m 橋梁下部工2基	道路築造工 L=705m (トンネル工 L=588m) (橋梁上部工 L=17m)	道路築造工 L=705m (トンネル工L=588m)	評価時 (当初) H21 必要性 B 重要性 C 効率性 A 緊急性 B	14%	計画どおり進んでいる。平成24年度は橋梁工事を進め、トンネルに着手。	平成21年5月に落石による死亡事故が発生しており、国内有数の観光地である上高地へのアクセスを安全にするため、継続して事業を実施したい。	落石対策の必要性が認められる。	「継続」
		26億円	1億5999万2千円	1億4000万円	22億3370万8千円	特記事項 国立公園内であるため、特に環境に配慮する必要がある。平成21年5月14日の落石による死亡事故を受け、学識経験者らによる防災対策検討委員会において、環境・安全性・コストに配慮した対策工法としてトンネルが最適との結論が出された。 B/C(費用対効果) = 1.3 住民参加状況等 特になし。					
28	(主) おおまちあみ 大町麻績イ ちくません ンター千曲線 さんせいじ 山清路 (生坂村)	道路築造工 L=480m W=5.5(7.0)m (うち橋梁工L=130m) (工期:H22~H27)	詳細設計1式	道路築造工 L=100m	道路築造工L=480m 橋梁工L=136m	評価時 (変更) H24 必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	3%	平成24年度は用地補償を進め、道路築造工事に着手する。	岩盤崩落により全面通行止めとなっている生坂橋及び、重量制限のある旧山清路橋を回避するため継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」
		14億円	882万円	1億5000万円	13億6100万円	特記事項 H24変更: 橋梁形式検討により全体事業費見直し(4億円増) 橋梁形式検討により事業期間の見直し(H25 H27) B/C(費用対効果) = 1.3 住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
29	しらほねおんせんせん (一)白骨温泉線 しらほね 白骨 〔松本市〕	道路築造工 L=1,064m W=4.0 (6.0)m 〔工期:H20~H24〕	道路築造工 L=416m	道路築造工 L=187m	道路築造工 L=187m	評価時 (変更) H24 83%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は待避所設置及びロードヒーティング工事を完了予定。	地元からの冬期通行止め解除の要請が強く、平成25年冬からの冬期通行止め解除に向けて、継続して事業を実施し平成24年度での完成を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		12億1000万円	5億6326万円	2億1000万円	2億1000万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更:平成25年冬からの冬期通行止め解除。 全体事業費見直し(1,600万円減) B/C(費用対効果)=2.1 住民参加状況等 地元温泉組合とともに冬期通行止め解除に向け、「冬期安全確保マニュアル」の策定に取り組んでいる。				
30	(主)穂高 あかしやせん 明科線 ときわばし 常盤橋 〔安曇野市〕	道路築造工 L=600m W=6.5 (12.5)m (うち橋梁 L=99m) 〔工期:H20~H27〕	旧橋撤去工	橋梁下部工	道路築造工 L=600m W=6.5(12.5)m (うち橋梁 L=99m)	評価時 (変更) H24 40%	平成23年度に旧橋撤去が完了し、平成24年度は橋梁下部工に着手する。	安曇野市の旧穂高地区と旧明科地区を結ぶ主要な道路であるため、継続して事業を実施したい。	必要性が高い。	「継続」	
		15億円	2億4948万3千円	2億6000万円	8億9720万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更:仮橋の構造変更による全体事業費見直し(3億円増)。 仮橋の構造変更による事業期間の変更(H25 H27)。 B/C(費用対効果)=1.8 住民参加状況等 特になし。				
31	(一)千国 ほくしやせん 北城線 つがけ 梅池 〔小谷村~ 白馬村〕	道路築造工 L=400m W=6.0 (11.0)m (うち橋梁 L=291m) 〔工期:H21~H26〕	橋梁上部工 L=291m 道路築造工 L=109m	橋梁上部工 L=291m 道路築造工 L=109m	橋梁上部工 L=291m 道路築造工 L=109m	評価時 (当初) H21 77%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は橋梁上部工を進める。	スキー場へのアクセス強化により観光の活性化に資する事業であるため、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性は認められる。	「継続」	
		19億円	3億7399万5千円	2億5000万円	4億4040万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 希少動植物保護のため、継続的に環境調査を行うとともに、工法の検討を行った。 事業期間の前倒し(H27 H26) B/C(費用対効果)=1.7 住民参加状況等 地域住民が貴重動植物に関する情報の提供や保護に積極的に参加している。				
32	(一)うちかわおぼすて いしやせん 車場線 かむりおぼし 冠着橋 〔千曲市〕	道路築造工 L=844m W=6.0(11.0)m (うち橋梁 L=473m) 〔工期:H17~H28〕	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁上部工	橋梁上部工 旧橋撤去工	評価時 (当初) H17 39%	計画どおり進んでいる。 橋梁下部工が完了し平成24年度は橋梁上部工を実施する。	幅員が4段階に変化し、幅員の狭い左岸側区間では信号処理により片側通行している。また、老朽化もかなり進んでおり、早急に架け替えの必要があるため、継続して事業を実施したい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		45億円	5億4661万円	4億4000万円	27億2490万円	必要性 A 重要性 B 効率性 B 緊急性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=1.0 住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)			補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
33	あいのしまたかや 相之島高山 ません 線 ひたばら 日滝原 (須坂市)	道路築造工 L=970m W=6.5(11.5)m (工期:H22~H24)	道路築造工 L=150m	道路築造工 L=464m	道路築造工 L=464m	評価時 (変更) H24	60%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は引き続き補償を推進し、道路 築造工を完了する。	日滝原産業団地への アクセス機能向上による 企業誘致の促進及び 生活道路の安全確保 を図るため、継続して 事業を実施し平成 24年度での完成を図 る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」
		2億9644万円	1億4609万4千円	1億2000万円	1億2000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 県営日滝原産業団地への企業誘致促進に関連する事業 全体事業費の見直し(356万円減)。 B/C(費用対効果) = 1.6 住民参加状況等 特になし。				
34	とよのみなみしが (主)豊野南志賀 こうえんせん 公園線 おんせんごしき 温泉~五色 (高山村)	道路築造工 L=334m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H26)	道路築造工 L=50m	道路築造工 L=118m	道路築造工 L=218m	評価時 (変更) H24	33%	平成24年度は12号カーブ工区の道路築造を 実施する。	観光地内の道路であり、 地域産業の活性化 に寄与する事業である ため、継続して事業を 実施したい。	拡幅改良の必要性 は認められる。	「継続」
		4億円	7749万1千円	9000万円	2億7000万円	必要性 B 重要性 C 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更:土留構造変更による事業期間の変更(H24 H26) H22変更:県単事業(継続)から交付金事業へ移行した。 狹窪工区;地質調査の結果、軟弱地盤対策のために 工法変更(1億円増) B/C(費用対効果) = 1.5 住民参加状況等 特になし。				
35	ながのうえだせん (主)長野上田線 しおさき 塩崎 (長野市)	道路築造工 L=2,970m W=6.0(12.0)m (うち橋梁工L=49m) (工期:H10~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=146m	評価時 (変更) H24	97%	土地収用手続きを行っている。 H26完了予定。	地元住民の早期完成 の要望が高まっている なか、事業は全体の9 割以上が完成しており 平成26年度完了を図 るため、バイパス全体 の完成に向け継続し て事業を実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」
		29億1110万円	0円	400万円	9290万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 H19再評価:「継続」 H24変更:土地収用手続きによる事業期間の変更(H23 H26) 取付道路修正による事業費の見直し(5,430万円増) B/C(費用対効果) = 1.7 住民参加状況等 特になし。				
36	まるこしんしゅうしん (主)丸子信州新 せん 線 おおおか 大岡 (長野市)	道路築造工 L=1,020m W=5.5 (9.25)m (うち橋梁 L=20m) (工期:H20~H26)	用地測量、用地 補償1式	道路築造工 L=120m	道路築造工 L=1,020m	評価時 (当初) H20	27%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は引き続き用地買収を進め、道 路築造工に着手する。	中山間地域の生活を 支える道路として整備 の必要性も高いことから、 継続して事業を 実施したい。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」
		7億円	1397万1千円	1億8000万円	5億1250万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24 実施事業名「長野市権内~宮平から大岡」に変更 B/C(費用対効果) = 1.0 住民参加状況等 特になし。				

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
37	<small>ながのさなだせん</small> (主)長野真田線 <small>まつしろ</small> 松代 (長野市)	道路築造工 L=2,375m W=6.0 (12.0~16.0)m (工期:H20~H27)	測量設計 1式 物件調査 1式 用地補償 1式	用地補償1式	道路築造工 L=2,375m	評価時 (当初) H20	16%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は2交差点部の暫定施工、必要 な水管橋の移設及び用地補償を行う予定。	松代市街地内を通過 する車両を排除する ことで、歴史的町並みを 活用した地域の取り組 みに寄与するため、街 路事業と連携し、継続 して事業を実施した い。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		21億5000万円	1億7381万円	2億5000万円	18億円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	特記事項 廃川敷の有効活用により道路を築造している。 B/C(費用対効果) = 1.6 住民参加状況等 特になし。					
38	<small>ながのとよのせん</small> (一)長野豊野線 <small>さんざい</small> 三才 (長野市)	道路築造工 L=1,400m W=6.0 (14.0~16.0)m (工期:H22~H28)	用地補償 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=1,400m	評価時 (当初) H22	8%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は、用地補償を進め本工事に着 手する。	沿線には、JR三才 駅、市立長野高校、県 立長野養護学校及び 国立長野高専があり、 交通のネックとなっ ている箇所の解消、歩 行者・自転車利用者の 安全を確保する必要が あることから、継続し て事業を実施したい。	必要性、重要性、緊 急性が認められる。	「継続」	
		20億円	1億9749万円	5000万円	18億3700万円	必要性 A 重要性 A 効率性 B 緊急性 A	特記事項 無電柱化事業を同時に実施する予定。 B/C(費用対効果) = 1.5 住民参加状況等 特になし。					
39	<small>ながのしなのせん</small> (主)長野信濃線 <small>きたがわ</small> 北川 (飯綱町)	道路築造工 L=460m W=6.0(12.0)m (うち箱形函渠1基 L=30m) (工期:H23~H26)	測量設計 1式	用地測量 1式 物件調査 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=460m W=6.0(12.0)m (うち箱形函渠1基 L=30m)	評価時 (当初) H23	2%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は用地買収を進める。	全体的に評価レベル が高く、狭隘で急カー ブ区間を解消するた めの必要性も認めら れるため、継続して事業 を実施したい。	必要性が認められ る。	「継続」	
		4億5000万円	2000万円	1億円	4億4000万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=4.4 住民参加状況等 特になし。					
40	<small>ながのすがひらせん</small> (主)長野菅平線 <small>すがだいら、した</small> 菅平下 (長野市)	道路築造工 L=162m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H24)	道路築造工 L=36m	道路築造工 L=126m	道路築造工 L=126m	評価時 (変更) H24	15%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は道路築造工を実施する。	観光地へのアクセス 道路として早期の整備 が望まれていることか ら、継続して事業を実 施し、平成24年度での 完成を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」	
		2億1273万円	380万円	1億8000万円	1億8000万円	必要性 B 重要性 C 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H24変更:構造物修正による全体事業費見直し(3,273万円増) B/C(費用対効果) = 1.5 住民参加状況等 特になし。					

分野	主要な道路の整備	事業番号、事業名	38 道路改築(地方道)				補助・単独別		補助	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
41	(一)豊田 なかのせん 中野線 かまくら へきだ 笠倉～壁田 (中野市)	道路築造工 L=1,810m W=6.0(9.75 ~15.0)m (うち橋梁L=196m) (工期:H19~H28)	埋蔵文化財調査 1式	埋蔵文化財調査 1式	道路築造工 L=970m 埋蔵文化財調査 1式	評価時 (当初) H19	24%	平成24年度は引き続き埋文調査び道路築造工を実施する。	救急医療アクセス、災害時の代替路確保の面からも緊急性が高く、地域住民との合意形成も良好であるため継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更:埋蔵文化財調査に時間を要するため工期を4年延長					
						重要性 A	B/C(費用対効果) = 2.1					
			28億円	1億4150万円	7000万円	21億1500万円	効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
42	(一)中野飯山線 ひがしかさほら こし 東笠原～越 (中野市)	道路築造工 L=1,040m W=6.0 (9.75~12.0)m (うち橋梁L=170m) (工期:H20~H24)	橋梁上部工 道路築造工 L=430m	橋梁上部工 道路築造工 L=870m	橋梁上部工 道路築造工L=870m	評価時 (変更) H24	95%	計画どおり進んでいる。平成24年度は橋梁上部工・道路築造工を実施する。平成24年度完了。	長野電鉄木島線廃止後の代替路線として重要であることから、継続して事業を実施し平成24年度での完成を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 長野電鉄木島線廃線による代替路線。全体事業費見直し(23,770万円減)					
						重要性 A	B/C(費用対効果) = 2.0					
			12億6230万円	3億9610万円	6453万2千円	6453万2千円	効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
43	(主)飯山 またら おあらいせん 斑尾新井線 かみら 上倉 (飯山市)	道路築造工 L=380m W=6.0(16.0)m (工期:H20~H27)	用地補償 1式 踏切等詳細設計 1式 付替水路工	道路築造工 L=50m	道路築造工 L=380m	評価時 (当初) H20	24%	計画どおり進んでいる。平成24年度はJRとの基本協定に基づく補償、並びに本工事を進める。	北陸新幹線飯山駅開業に合わせて、駅アクセス道路として整備が必要であるため、継続して事業を実施したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 北陸新幹線飯山駅周辺道路の整備。					
						重要性 A	B/C(費用対効果) = 1.9					
			11億6000万円	6378万円	8200万円	8億7963万円	効率性 B	住民参加状況等 特になし。				
合計	43箇所	582億7767万円	68億1048万7千円	56億1517万8千円	339億4818万4千円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				